

**単**のヲシテ  
**中央**のヲシテ  
 の象徴 ミクサタカラ

タマ	カガミ	ツルギ
「知る」	「分かつ」	「分ける」
精神科学	社会科学	物質科学

縄文哲学の骨子

- ・ミクサタカラの(タマ・カガミ・ツルギ)は精神科学・社会科学・物質科学の象徴である。
- ・3つの科学は、「知る」「分かつ」「分ける」により結ばれる。

1. 精神科学の「知る」については、別紙No. 2 及びNo. 4 を参照。現代日本語に最も近い語に「気(キ)付く」がある。

2. 社会科学の「分かつ」とは、「物や事」を他の人々に「分けて、与える」こと。タマやツルギから得られる「物や事」を分け与え、もって皆で豊かになること。福祉の基礎。

3. 物質科学の「分ける」とは、「物や事」を「分ける」ことにより「分かる」=理解すること。物の理ことわりのこと。

4. 既[知]の「物や事」を皆に「分け与える」ことはできるが、未[知]の「物や事」を「分け与える」ことはできない。

- 1. は **単** に類する。
  - 2. と 3. は **中央** に類する。
- 注「タマ」へ向けて逆方向の「知る」に相当する言葉は見当たらない。

